

# 低出生体重児のお子さんの亜鉛、その他のミネラルの栄養評価 に関する研究のお知らせ

帝京大学大学院公衆衛生学研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年3月5日～2020年3月31日

**〔研究課題〕** 極低出生体重児及び超低出生体重児における亜鉛を含むミネラルの血液中濃度の推移に関する研究

**〔研究目的〕** 本研究では、極低出生体重児および超低出生体重児のお子さんを対象に、母乳や低出生体重児用調製粉乳から摂取している亜鉛の量と血清亜鉛濃度の推移を調べ、現行の栄養管理の不十分な点を検討し、その適正化を目指します。

**〔研究意義〕** 低出生体重児のお子さんでは亜鉛が潜在的に不足していると考えられ、欧米では低出生体重児に対する亜鉛投与の必要性が指摘されています。一方で、母乳や調整粉乳からの亜鉛摂取量と血清亜鉛濃度の関連を経時的に追跡した報告は少ないため、低出生体重児のお子さんでの亜鉛必要量を適切に満たしているかどうかは明らかではありません。この研究で得られた情報は、今後の適切な栄養管理を検討するための貴重な情報になると考えています。

**〔対象・研究方法〕** 国立成育医療研究センター新生児科にてフォローされている、極低出生体重児のお子さんを対象とします。生後より一定のスケジュールで、通常診療の検査に併せて、血液中・尿中の亜鉛、鉄などの微量元素の濃度を測定し、同じタイミングで母乳中の濃度も測定します。栄養管理に関する基礎的知見を集めます。

**〔研究機関名〕** 帝京大学大学院公衆衛生学研究科、帝京大学小児科学講座、国立成育医療研究センター新生児科、同センター消化器科

**〔個人情報の取り扱い〕** 研究のために集められたデータは、個人情報を削除して個人情報分担管理者が被験者識別コードを付与して管理します。対象者様のプライバシーが侵害されないよう管理されます。

**〔その他〕** 本研究に関連する企業や団体からの資金援助は受けておらず、利益関係もありません。研究参加に際して、交通費の支給、謝礼はありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：山岡和枝 公衆衛生学研究科 教授

研究分担者：船山理恵 公衆衛生学研究科 博士課程3年

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211(代表) [内線 46157]